



今年4月か
ら小学校では
5200円を
国が負担する

9月定例
議会閉会

「学校給食費の完全無償化」 請願

全会一致で採択

18日（金）、9月定例市議会が討論・採決をおこない閉会しました。市長提案の議案31件はすべて可決されました。日本共産党は、24件に賛成し、25年度一般会計決算など7件に反対しました。

学校給食費完全無償化
市独自で早期に実施を

日本共産党紹介の「早期に小中学校給食費の完全無償化を求める請願」（春日部市教職員組合、新婦人の会春日部支部、新婦人の会庄和支部）は全会一致で採択されました。

「無償化制度」が実施されま

した。すでに近隣では加須市、久喜市、幸手市が小中学校で完全無償化を実施しており、市は「全会一致の採択」をしっかりと受け止め早期に実施することが必要です。

「ゆつく武里の利活用について計画段階から利用者・地域住民とともに検討を求める請願」（新婦人の会春日部支部）は不採択となりました。

日本共産党提出の

「意見書」 3件採択

日本共産党提出の国への

「意見書」のうち、左表のように「非核三原則の堅持を求める意見書」など3件が採択され、国に送付されました。

賃金未払いの業者に

2350万円の委託料

25年度市は、従業員に賃金未払いの（株）クリンクルに對して清掃業務委託料として2350万円を支払いました。

日本共産党は、25年度一般決算の討論で「悪質業者との契約を解除し、市の責任で賃金未払いを解決し清掃業務を正常に戻すこと」などを求め認定に反対しました。

市議会の詳細については「市議会ホームページ」で公開されますので、ぜひご覧ください。なお、12月定例会は11月27日（金）開会予定です。

	議案	請願	意見書
● 反対・否決・不採択 ○ 賛成・可決・採択 ◎ 提出・紹介	25年度一般会計決算認定	学校給食費完全無償化 「ゆつく武里」利活用	殺傷兵器の輸出禁止 比例定数削減反対 ICC・赤根所長支持 非核三原則の堅持 備蓄米の早期買戻し
日本共産党 (4)	● ●	◎ ◎	◎ ◎ ◎ ◎ ◎
自民・無所属の会 (8)	○ ○	○ ●	○ ● ● ● ●
次世代かすかべ! (6)	○ ○	○ ●	◎ ○ ○ ● ●
公明党 (6)	○ ○	○ ●	○ ○ ○ ○ ○
立憲民主党 (1)	○ ○	○ ●	○ ○ ○ ● ●
国民民主党 (1)	○ ○	○ ●	○ ○ ○ ○ ○
日本維新の会 (1)	○ ○	○ ●	○ ○ ● ● ●
無所属 (榛野) (1)	○ ○	◎ ●	○ ○ ● ● ●
無所属 (古澤) (1)	○ ●	○ ○	○ ○ ○ ○ ○
無所属 (永田) (1)	○ ○	○ ●	● ● ● ● ●
結 果	○ ○	○ ●	○ ○ ○ ● ●



災害時個別避難計画は実効性あるものに

おあしすルームを心の居場所に

大野とし子議員一般質問



9月15日(火) 大野

とし子議員は、①災害

時避難行動要支援者避

難支援制度を確立し、誰一

人取り残さない体制を、②

こどもたちの居場所「おあ

しすルーム」を小学校全校

に配置を、について一般質

問を行いました。

福祉部、健康保険部と連
携し実効性あるものに

要支援者避難支援制度は、

令和3年の「災害対策基本

法」改正において、災害時

に支援が必要な人の個別支

援計画を作成することを市

町村の努力義務としました。

春日部市も対象者に手紙

を出し、必要な支援を記入

したものを返信してもらい、

福祉部、健康保険部と連携

して個別支援計画を作成し

ていく方針が示されました。

現在の取り組みとして、

危機管理防災室と福祉部、

健康保険部が月一回会議を

持ち制度について学び、連

携の仕方など共通理解して

いること、何より災害時は

地域の共助が大切と自主防

災の避難訓練などに参加し、

地域の方々にもこの制度を
周知しています。

要支援者のお困りごと
は丁寧にご相談していく

大野議員は「要支援者の

中には支援してもらえない人

がわからない場合や、難病

の我が子はどのような支援

方法があるのかわからない

方もいる。そのような場合

の対応はどうしていくのか」

と問いました。

市長公室長は「そのよう

な場合は市に相談してほし

い。一緒に考えていきたい」

と答弁しました。

頑張っている子どもたち
の心を受け止める場に

学校までは来られるけれ
ど教室には入れない子ども

たちのために、おあしすル
ームが令和8年度から正式に
小学校3校(豊春小・武里
南小・桜川小)で始まりま
した。成果として、週2
日の開設時に全員が登校し
ていること、教室に戻るこ
とができた児童がいること、
不安定になった児童の心の
居場所になっていることが
わかりました。

大野とし子議員は「日本
の学校は、学習や運動など
の競争の中で人と比べられ、
自己肯定感を持てない児童
が多いといわれます。頑張
りすぎて心がめいっぱい
なってしまう子どもたちを
受けとめる心の居場所が必
要です。おあしすルームを
小学校全校に配置し、毎日
開設を一年でも早く実現す
ること」を求めました。

市立医療センター TEL735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外科系 小児救急電話相談 #7119

9/27(日) (内科系) ふじクリニック: 中央1-8-13 電話: 754-5331 (小児科系) グレース家庭医療クリ

ニック: 大倉610-10 電話: 718-0107 (外科系) 梅原病院: 小淵455-1 電話: 048-752-2152

10/ 4(日) (内科系) みくに中央クリニック: 中央1-56-18 電話: 737-5400 (小児科系) 宇野クリニック:

粕壁1-6-5-2階 電話: 760-3711 (外科系) さだまつ眼科クリニック: 谷原新田2213-1 電話: 731-5040

統一地方選勝利めざし 「SNS広告」をいち早く発信するための 特別募金へのご協力を心より訴えます

日本共産党埼玉県委員会

日ごろより、日本共産党への温かいご支援に心から感謝申し上げます。

来年3月に迫った統一地方選は、県内63自治体のうち約半数の32自治体でたたかわれます。前半の県議選とさいたま市議選、後半の一般市町村議選で、現有議席の絶対確保と新たな議席獲得をめざし全力をあげる決意です。

いま、平和や暮らしを守る立場をつらぬき、力強く対案を示し、高市政権の強権と暴走に対決する日本共産党の姿が鮮明になり、新しい注目と期待の声が寄せられています。

この期待に応えるためには、従来の音の宣伝やポスター・チラシに加え、SNSをはじめとするインターネット宣伝の強化がきわめて重要になっています。そこで県委員会として、SNS広告に必要な財源を確保するための特別募金をお願いすることといたしました。

この募金が多く集まるほど、より広い有権者に党の姿を届けることができます。統一地方選勝利に向け、みなさんの特別募金へのご協力を心よりお願い申し上げます。

募金先

郵便振替

【口座番号】 00110-1-562668

【加入者名】 埼玉県委員会

通信欄に「SNS募金」と記入のうえ、住所、氏名、職業をお書きください。

事務所・党员

最寄りの党事務所もしくは
お知り合いの党员にお渡してください。

